

船舶事故調査報告書

平成28年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成28年4月22日 08時23分ごろ
発生場所	京浜港東京第2区竹芝棧橋 東京第6台場西灯浮標から真方位355° 1.2海里付近 (概位 北緯35°39.2′ 東経139°45.8′)
事故の概要	旅客船セブンアイランド虹 ^{にじ} は、着棧作業中、係留中の貨客船 橘丸 ^{たちばな} に衝突した。
事故調査の経過	平成28年5月6日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客船 セブンアイランド虹、281.14トン 137120、東海汽船株式会社 B 貨客船 橘丸、5,681トン 142125、東海汽船株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級（航海） B 船長B、三級（航海）
負傷者	なし
損傷	A 右舷船首部外板に凹損 B 左舷船尾部外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	A船は、芝浦物揚場浮棧橋を離棧し、竹芝棧橋に着棧作業中、右舷推進器が前進から後進に切り替わらず、速力が低下しない状況で同棧橋に係留中のB船と衝突した。 A船は、船舶所有者の整備士が、A船の右舷推進器の後進に関連する機器（スロットルパネル、ヒューズボックス等）の交換及び関連する電線の張り替えを本事故後に実施したところ、正常に前進から後進に切り替わることが確認された。
分析	A船は、竹芝棧橋に着棧作業中、右舷推進器が前進から後進に切り替わらなかったことから、速力が低下せず、同棧橋に係留中のB船に衝突したものと考えられる。 A船は、右舷推進器の後進に関連する機器の交換及び電線の張り替えを実施したところ、前後進の切替えが正常に作動することが確認されており、交換した機器等の一部が故障していた可能性があると考えられるが、故障した機器等を特定することができず、前進から後進に切り替わらなかった状況を明らかにすることはできなかった。

原因	本事故は、A船が、竹芝棧橋に着棧作業中、右舷推進器が前進から後進に切り替わらなかったため、速力が低下せず、同棧橋に係留中のB船に衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 運航開始前には、各機器の作動確認を実施すること。